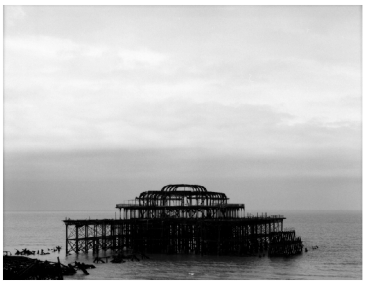
WAKO WORKS OF ART 3-18-2-101/103, Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan
tel. 03-3373-2860 fax. 03-3373-2812 e-mail. info@wako-art.jp URL. http://www.wako-art.jp

Fiona Tan
"News from the Near Future"
フィオナ・タン



West Pier II, 2006
Black and White print on Baryta paper
75 x 96 cm

このたび4月4日(水)より、当画廊におきまして、フィオナ・タンによる展覧会を開催する運びとなりました。3年ぶり3回目の個展となります今回は、日本未発表の映像作品「*Downside Up*」,「*News from the Near Future*」および写真作品「*West Pier*」シリーズを展示いたします。

インドネシアに生まれ、オランダを拠点に活躍するフィオナ・タンは、反中国人暴動によって離散した自身の家族を追うドキュメンタリー・フィルム「*May You Live in Interesting Times*」(1997)をはじめ、ヨーロッパで高い評価を受けています。彼女が作品を通じてアイデンティティを追求するのは、中国系インドネシア人とオーストラリア人の両親をもち、東洋と西洋で育った背景があります。しばしば既存の記録フィルム素材を作品に取入れ、ドキュメンタリーとフィクションの間を行き来するような表現は、まるで自分自身の文化的・歴史的ルーツを辿っているようでもあります。

夕暮れ時に通りを行き交う人々が上下逆さに映し出され、いつしか人々の影が人間へ、人間は影へと代わっていく「*Downside Up*」(2002)。海岸に佇むヴィクトリア風の男女、海水浴を楽しむ人々、汽笛をならす蒸気船、ヨーロッパ河川の氾濫など、水に関連した様々な記録映像のコラージュを洞窟の中から見つめる「*News from the Near Future*」(2003)。彼女が元来関心を寄せている時間や記憶といったテーマが、独自の映像言語で語られています。

Fiona Tan フィオナ・タン

1966年インドネシア生まれ、オランダ在住。映像作家。中国系インドネシア人の父とオーストラリア人の母を持つ。88年からオランダに移り92年までアムステルダムのアカデミー、96年-97年に同地の国立美術学校に学ぶ。これまでヨーロッパを中心に個展・グループ展を開催。2006-2007年にかけて、ヨーロッパ巡回個展「Mirror Maker」を開催。2007年Deutsche Borse Photography Prize受賞にともない、現在Photographers Gallery(ロンドン)にて、グループ展を行っている。イスタンブール・ビエンナーレ、ICPトリエンナーレ、ドクメンタ11、ベニス・ビエンナーレ、ベルリン・ビエンナーレ、横浜トリエンナーレなど、これまで数多くのアートショウに参加、精力的に制作活動を続けている。

会　　場：ワコウ・ワークス・オブ・アート
WAKO WORKS OF ART
新宿区西新宿3-18-2-101・103
tel/ 03-3373-2860　fax/ 03-3373-2812
e-mail/ info@wako-art.jp
会　　期：2007年4月4日(水)～5月10日(木)
アーティスト・レセプション： 4月4日(水)18:00-20:00
開廊時間 ：11:00～19:00　**日・月・祝　休み**